

□会派改進黨 河崎平男議員

1 住みよいまちづくりについて

論点	庁舎などの公共施設は不特定多数の市民が集う場所であり、耐震対策はどのようになっているのか。
回答	建築物の耐震改修の促進に関する法律が改正され、要緊急安全確認大規模建築物は耐震診断を実施し山口県に報告することが義務づけられた。この該当する施設は、市民病院（建て替え済み）、市役所、オートレース場の3施設で、今後実施していく。

論点	厚狭駅周辺整備のコンパクトなまちづくりについて、どのように計画されているのか。
回答	厚狭駅を中心としたおおむね半径1キロメートル圏内を想定し、実現に向け厚狭駅南部の区画整理地区内においてコーポラティブ方式を取り入れた住宅の整備計画を進めている。

論点	産官学民が連携した子育て施策についてどのように考えているのか。
回答	市民や各団体、民間企業などの知恵やアイデアを生かした事業展開も検討する中で、今後研究していく。

2 魅力的なまちづくりについて

論点	観光振興の施策展開をするには市外で活躍する人たちの意見を聞いてはどうか。
回答	イベントや博多駅などで観光PRを実施している。今後も観光連盟や観光機関と連携を取りながら積極的に推進していく。

論点	生涯学習推進に向けた公民館事業のあり方について問う。
回答	来年度から、委託館制度で培われた公民館の品位を保ちつつ、新たに目指す公民館像を掲げ、ひとづくり、学校づくり、まちづくりの理念の具現化のため次なるステップに向けて進めている。

### 3 地域力再生によるまちづくりについて

論点	きらら浜で開催される世界スカウトジャンボリーでのおもてなしはどのようにするのか。
回答	すべての小、中、高校で歓迎行事を企画中である。さらに西日本最大級のシステム農場である花の海への訪問、ガラス未来館での制作体験などを実施する。

### 4 その他の施策について

論点	合併 10 周年が経過するなか、職員の意識高揚や一体感を醸成するため市章（バッジ）の着用を考えてはどうか
回答	市の象徴である市章を職員が着用することにより、山陽小野田市の職員としての自覚と責任感が強まり職員の意識高揚につながり、行政サービスの向上にも効果が期待されるので費用対効果等を含め検討していく。